

【中学校】 【外国語】

明日から意識！

4 技能 5 領域における資質・能力を高める授業

～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら～

文部科学省/mextchannel 外国語教育はこう変わる！
<https://www.youtube.com/watch?v=5bxsSkxq7Kg>

Point 1

単元を通した授業計画づくり

何ができるように
なるかな
(身に付けたい資質・能力)



① 単元目標(goal) の設定

- 単元を通してどのようなことができるようになるか
(「聞くこと」「読むこと」「話すこと[発表][やりとり]」「書くこと」)

② 記録に残す評価の設定

- (4 技能 5 領域のうち) 何について (3観点のうち) 何で 記録に残すか
(例) 「話すこと[発表]」について 「思考・判断・表現」で 記録に残す

③ 単元計画の設定 (評価を行うまでの時間設定)

Point 2

生徒が自身の話す内容を見通したり、改善したりする場の設定

ICT端末を活用しながら
自分で考える（練習）時間

教員や友達と学び合う時間

場面

※(例)「話すこと」

①Today'goal

- (例) コミュニケーションを行う目的や場面、設定を生徒と共有



②My time 1

個別

協働

- (例) 生徒1人1人が、伝えたい内容を考える
- (例) 生徒同士で話したい内容を相談する



③Speaking 1

協働

- (例) 実際にコミュニケーションを行う

④Advice time

個別

協働

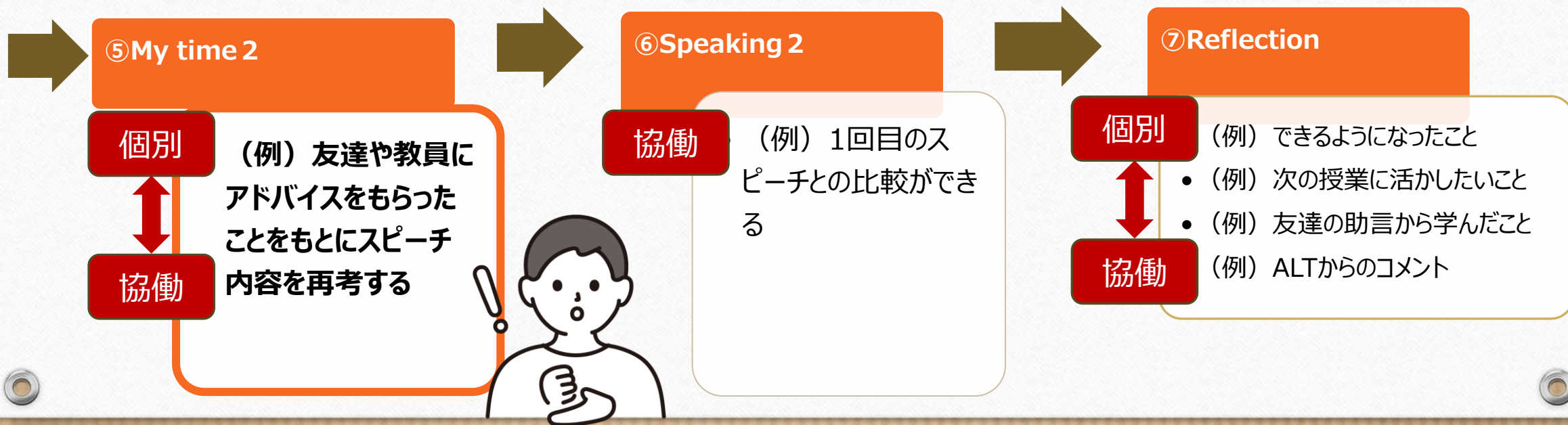
- (例) 友達同士でアドバイスし合う
- (例) 教員やALTからのアドバイスを聞く

Point 2

生徒が自身の話す内容を見通したり、改善したりする場の設定

ICT端末を活用しながら
自分で考える（練習）時間

教員や友達と学び合う時間



Point 3 教員やALT等による適切な見取りや指導

(例) 本時の展開 My time やAdvice timeなどの時間では、生徒の「解決したい」「達成したい」様子を見て回り、指導・助言することが大切です。

解決したい

達成感



- ・ 生徒の言いたいことに応じて、より自然な英語になるよう指導しましょう。
- ・ 生徒同士で解決できないことに対するアドバイスをしましょう。

